

日午前十時ヨリ本所正中之郷入野所業平亭ニ於テ争議解決
報告演説會ヲ開催セリ 參會者一五十名ニシテ 然本外一。
右登壇有利一角 大セルヲ祝シ 諭旨頌激ニ至リ 中止ヲ命セ
ラレタル者一名アリタル外率故ナク 午后三時散會セリ
及申(通)報候也

(別記)

覺書

第一條

工場、勵務時間ハ午前七時ヨリ午後五時迄、十時間トス

但、午前六時半及ヒ終業ノ際除却大ニ居リシ時間ハ右勤務時間ニ

含メ入ス

午前九時ヨリ十五分間正午ニ世分(食事ヲ含ム)午后三時ヨリ十五分間

ヲ休憩時間トス

第二條 現在日給八歩ヲ増給シ 尚現在、特別手當ヲ加算シ本給トス
工場、都合二体リ臨時休止モフ為ス場合、日給、全額ヲ支給ス
第三條 皆勤賞典ハ毎月一人トシ早退遲刻各一回ハ免除シ皆勤者ト
認メ賞典ヲ又、給ス

外ニ一ヶ年ヲ一日六月三十日迄七月一日ヨリ十二月三十日マテノ
二期トシ毎期皆勤者ニ日給二日分完ヲ給與ス

第五條 犯業ハ一時間ルノイ割一歩二厘又ヲ支給ス

第六條

同上給ハ次、如ク安易施不

日給八円五拾銭迄、者ハ年一回金五元以上、式内五拾年ヲ超過セル
者、能力及至清狀態、依リ適宣昇給セシム

第七條 每年正月仕事始ニ年五トキ日給一日分及酒肴料金一円五枚